

新型コロナワクチン接種について

- ✓ 2022年に入り、国内はオミクロン株が拡大し、小児の新型コロナウィルス感染者数が増えています。幸い小児患者は重症化する症例は少ないですが基礎疾患のある小児患者では重症化する症例がわずかですが報告されています。
- ✓ 本邦でも5～11歳の小児への新型コロナワクチン接種が2022年3月より開始になる方向で準備を進められています。

現時点で小児に対する新型コロナワクチンで

『分かっていること』

- ✓ 海外では5～11歳の小児に対するワクチンによる発症予防効果は90%以上であった。
- ✓ 副反応の発症頻度は16～25歳の人に比べて低かったとされている。

『分かっていること』

- ✓ 新しい変異株(オミクロン株など)への有効性については分かっていない。
- ✓ 日本人の有効性、副反応の発生率などの報告は出ていない。
- ✓ 長期的な副作用についての報告がない。

当院の考え

1. 子どもを新型コロナウィルスから守るためには**周囲の成人への新型コロナワクチン接種が重要**です。
2. 基礎疾患(心臓の病気や肺の病気、神経疾患など)のある子どもへのワクチン接種で新型コロナウィルス感染に伴う重症化を防ぐことが期待できます。
3. **中長期的(10年後などお子さんが大人になるくらい先)な副作用やワクチンが及ぼす影響については分かっていないため、それらを十分に理解し、お子さんにも良く説明し、その上で接種を希望される時のみ接種をさせていただきます。**
4. 筋肉注射になるため、接種の際に安静を保てない場合、逆に危険になる可能性が高いです。**(安静を保てない場合はお断りする可能性もございます。)**
5. あくまでもワクチン接種は重症化リスクを下げるためであって、接種をしても感染する可能性はあるということは十分にご理解ください。

当院での新型コロナワクチン接種についての考えなどご理解いただき、ワクチン接種を希望される方は富士見市からのご案内に沿って予約を進めていただければと思います。

ワクチン接種する、しないに関わらず、手洗い・マスク着用などの標準予防策が重要となりますので引き続き、感染対策を続けていくようご協力をお願いいたします。

なにかございましたら遠慮なくおたずねください。 おぎそ小児科医院

